



Special Olympics

Be a fan™

2014年度 ルール変更 対照表

競技名：バレーボール

変更前の内容	変更後の内容
<p>セクションBーコートと用具</p>	<p>セクションBーコートと用具</p> <p>5. 選手のジャージには1～99の番号が付いていなければならない。スペシャルオリンピックス世界大会の場合、選手のジャージには1～20の番号が付いていなければならない。</p> <p>6. 胸の番号は、最低高さが10cm(4”)、背中の番号は、最低高さが15cm(6”)なければならない。</p> <p>7. 要求されてはいないが、チームキャプテンはジャージの胸の番号に下線を1本付けることが奨励されている。</p>
<p>セクション Cー競技ルール</p> <p>1. チーム競技</p> <p>リベロ選手</p> <p>a. どのチームもセット毎にリベロ選手を1名指名することができる。リベロ選手が怪我で続行不可能な場合には、特別ルールが設けられている。各マッチのセット毎のラインナップリストに、6名のスターティングメンバーの番号と、リベロ選手の番号を記載しなければならない。リベロ選手は、コート上で容易に区別できるように、チームの他のメンバーのユニフォームとは異なる対照的な色、もしくはデザインのもを着用しなければならない。</p>	<p>セクション Cー競技ルール</p> <p>1. チーム競技</p> <p>リベロ選手</p> <p>a. どのチームもマッチ毎にリベロ選手を2名指名することができる。リベロ選手が怪我で続行不可能な場合には、特別ルールが設けられている。各マッチのセット毎のラインナップリストに、6名のスターティングメンバーの番号と、リベロ選手の番号を記載しなければならない。リベロ選手は、コート上で容易に区別できるように、チームの他のメンバーのユニフォームとは異なる対照的な色、もしくはデザインのもを着用しなければならない。</p>

<p>ない。FIVB ルールと相反するが、スペシャルオリンピックスの趣旨に基づいて、各チームともリベロ選手をセット毎に任意で変更することができる。</p> <p>b. 競技会適用事項（FIVB ルールより）</p> <p>4) 違反行為については、まず口頭か手で警告する。それ以降の警告はイエローカードやレッドカードに引き上げられる。イエローカードの場合はペナルティーポイントとしてサーブが相手側のものとなり、レッドカードの場合は、そのセットから退場しなければならない。また、イエローカードとレッドカードの両方で警告された場合は、試合失格となる。</p> <p>c. 基本グラウンドルール</p> <p>3) プレイ</p> <p>b) ブロッキングを除き、連続して2回ボールに触ってはならない。これはFIVB ルール第10条及び15条で認められている「1回の攻撃において許可される複数回接触」とは区別される。</p>	<p>b. 競技会における FIVB ルールからの変更点</p> <p>4) 軽微な反則については、イエローカードが出される前に、まず口頭で警告する。それ以降は、イエローカードがチームに対して与えられる。イエローカード以降の警告はレッドカードに引き上げられ、ペナルティーポイントとサーブ権が相手チームに与えられる。また、イエローカードとレッドカードが一緒に提示された場合は、そのセットから退場しなければならない。また、イエローカードとレッドカードが別々に提示された場合は、試合失格となる。</p> <p><削除></p>
---	--